

73

# 本店新築記念

横須賀信用金庫

# 新本店



# ごあいさつ

このたび横須賀市の中心大滝町に市随一の偉容をもつ新店舗が完成いたしました。

これはひとえに会員お取引先及び関係者皆さまのご後援の賜でありまして厚く御礼申し上げますとともに、建築工事関係者皆さまのなみなみならぬご努力ご熱意に深く感謝の意を表する次第であります。

ご存知の通り横須賀信用金庫は大正13年、打続く不況と大震災で疲弊しきった横須賀の復興と、中小商工業者の金融の円滑を計るため孤々の声をあげ、爾来48年有余中小商工業者、勤労者の専門金融機関として努力をしまいにしました。ことに昭和37年よりは横浜市に地区拡張をし、昭和43年には日本銀行と取引を開始いたし、預金量も400億を突破、内外共に立派に成人したのであります。

近年のわが国経済の飛躍的進展と共に当金庫の業容も拡大の一途をたどっております。コンピューターも開店と同時に稼動する状態にあり、建物設備の拡充強化のため本店を新築した次第であります。

新店舗は取引先皆さまのご便宜を本位とし、規模・設備機能等々近代的な創意をもって設計、建築した次第であります。私たち役員一同はこの近代的で清潔な、しかも明るい店舗で輝かしい伝統に拠り、新しい明日を目ざして一致協力し、更に一層の業績の伸展をはかり、“皆さまの信用金庫”としてご奉仕いたす所存であります。

どうぞ一層のご支援ご愛顧を賜われますようお願い申し上げます。

昭和47年12月

理事長

吉井 勝重



# 代表理事・常勤理事

# 理事・監事

理事長 吉井 勝重



常務理事 服部 真司



常務理事 小林 進



理事 浜田 清三郎



理事 石渡 三郎



理事 吉水 良穂



理事・南ブロック長 望月 誠



理事・本店長 白井 敏行



理事・検査部長 金井 弘一



監事 加藤 勇



監事 辻井 信吉



監事 那須川 之和

# 歩み

- 大正13年 有限責任横須賀信用組合として発足(3月)、払込済出資金35,590円  
組合員数 505名、組合長今井市兵衛
- 昭和26年 田浦信用組合と合併、田浦支店となる(3月)、信用金庫法の施行に  
伴ない組織変更を行ない横須賀信用金庫となる(10月)
- 昭和27年～33年 衣笠支店開設(27年2月)、追浜支店開設(28年7月)に次いで久里浜  
支店開設(33年6月)
- 昭和37年～40年 営業地区を横浜市に拡張(37年10月)、武山支店開設(38年5月)に次  
いで磯子支店開設(40年8月)
- 昭和41年～43年 金沢支店開設(43年11月)、日本銀行取引開始(43年12月)  
預金量 100億円達成(41年8月)
- 昭和44年～45年 日本銀行歳入代理店(44年11月)に次いで国債代理店となる(45年4  
月)、保土ヶ谷支店開設(45年10月)
- 昭和46年 吉井勝重氏理事長就任(3代・1月)、本店新築工事着工(9月)  
預金量 300億円達成(7月)
- 昭和47年 預金量 400億円達成(8月)  
新本店新築落成12月1日披露、12月4日開店営業開始

# 思い出



2代目理事長  
会長 吉井市蔵



初代理事長  
故 柴崎彦造

横須賀随一の立派な店舗が完成いたし  
誠にお目出度く感慨無量であります。

私は金庫が組合といった当初から永年  
共にあゆんでまいりましたので金庫に関  
する思い出話は語り尽せない程多く持っ  
ております。

大正12年の関東大震災で横須賀も大被  
害を受け、加えて打ち続く不況で市全体  
が疲弊し切っておりました。

翌年の大正13年3月2日、大滝町9番地に  
於て当時の横須賀市の有力な政界、財界  
の有志が中心になり、有限責任横須賀信  
用組合として発足いたし、払込済出資金  
35,590円、組合員数505名、預金量879円  
が開店当時(3月10日)の実績であります。

その後、幾多の苦難の途は続き、皆そ  
れぞれ去って行きまして、最後まで残っ  
たのが故柴崎彦造氏(初代理事長)と先  
代故小佐野皆吉氏(現商工会議所会頭の  
尊父)と私の三人でした。満州事変、支  
那事変、大東亜戦争、そして終戦と時代  
はうつり、昭和26年信用金庫法の制定に  
より信用金庫への組織変更を行い故柴崎  
氏が初代理事長に就任いたしました。高  
度経済成長政策等による日本経済の飛躍

的な進展と共に当金庫も躍進又躍進の一  
途をたどり、預金量も500億円になんなんと  
し、今時のこの立派な店舗を築きあげるま  
での輝しい業績をつくりあげたのです。  
初代理事長としてなみなみならぬ功績を  
残された柴崎氏も昭和43年9月逝去され、  
昭和43年5月あとをついで理事長に就任し  
た私も昭和45年12月に引退し、昭和46年1  
月に現理事長に金庫経営を引きつぎました。

1970年代は激動の時代といわれ、毎  
日毎日が変化にあけくれておりまして、  
金庫を取りまく経営環境も一段と厳しさを  
加えておりますが、金庫の役員陣も一  
拳に若返り、新しい経営感覚をもってこ  
の激動の時代に対処いたすべく努力いた  
しております。どうか金庫職員にあって  
は心身ともに若くたくましい力を結集し、  
地元生まれ、地元で育った信用金庫の  
使命を自覚し、より一層の努力をされる  
よう希望します。

お取引先はじめ皆さまにおかれまして  
はこの地元生まれ、地元とともに歩む  
横須賀信用金庫をよき友人、隣人として  
末永くご愛顧賜わりますよう新本店完成  
に当たりお願い申し上げます。

# 各階ご案内

|                                 |    |  |
|---------------------------------|----|--|
| ●大会議室                           | 9F |  |
| ●役員室<br>●応接室                    | 8F |  |
| ●審査部室 ●業務部室<br>●検査部室            | 7F |  |
| ●総務部室 ●タイフ室<br>●教育研修室 ●電話交換室    | 6F |  |
| ●コンピューターセンター                    | 5F |  |
| ●医務室 ●休憩室<br>●職員食堂              | 4F |  |
| ●営業応接室 ●会長室                     | 3F |  |
| ●営業室 (融資関係全般)                   | 2F |  |
| ●営業室 (預金関係全般)<br>●夜間金庫          | 1F |  |
| ●貸金庫室 ●金庫室 ●機械室<br>●電気室 ●クレーマー室 | B1 |  |

## 建築概要

|      |  |
|------|--|
| 建築主  | 横須賀信用金庫  |
| 建築位置 | 横須賀市大滝町2丁目2番地  |
| 敷地面積 | 521.306m <sup>2</sup> (157.695坪)   |
| 建築面積 | 485.887m <sup>2</sup> (146.981坪)   |
| 延床面積 | 4,988.274m <sup>2</sup> (1,508.953坪)   |
| 工期   | 着工 昭和46年9月<br>竣工 昭和47年11月  |
| 階数   | 地下1階 地上9階 塔屋3階   |
| 構造   | 基礎及地階部分 鉄筋コンクリート造 (直接基礎)<br>主体 鉄骨鉄筋コンクリート造   |
| 建物高さ | 基準地盤面よりパラベット上端迄 30.950m<br>塔屋上端迄 38.300m   |
| 外装   | 屋上 アスファルト防水シスターコンクリート押えモルタル金鍍仕上<br>外壁 西・南側 無色アルミカーテンウォール、熱線吸収ブロンズガラス<br>東・北側 小口平施釉磁器タイル貼り                            |
| 内装   | 1階営業室 床：現場テラゾー塗りステンレス目地<br>壁：モルタル金鍍ゾラコート吹付<br>壁画、窯変タイル貼り<br>天井：岩綿吸音板<br>事務室 床：ジュータン敷込<br>壁：モルタル金鍍ゾラコート吹付<br>天井：岩綿吸音板 |

## 設備概要

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 冷暖房設備 | ガス類冷温水発生機よりの冷温水を各階ファンコイルに送り冷暖房を行なう。<br>1階は地階機械室に空調機を設けダクトにて冷温風を送り込み、他にフロアーヒーティングを設置し、床面の温度差を無くしている。<br>各階に新鮮空気用空調機を設置し、ダクト送風にて各室にフレッシュエアを供給する。<br>5階電子計算機室にはパッケージ型空調機を設けてある。全館温湿度自動制御装置は空気式 | 退退表示設備<br>TV共聴設備<br>放送設備<br>時計設備<br>外部電光時計<br>インターホン設備<br>ITV監視設備<br>非常通報設備<br>防災設備 自動火災報知機設備 1式<br>防火戸閉鎖設備 1式<br>避雷針設備<br>貸金庫室 ステンレス鋼製保護預り函 356箱<br>夜間金庫 レシーター付<br>昇降機設備 エレベーター 乗用エレベーター 600kg 2台<br>9名 90m/min<br>エスカレーター 輸送能力5,500人/時<br>速度 30m/min<br>クリスタルレーン<br>ダムウエーター 50kg 1台 30m/min<br>冷暖房・換気設備 暖房・冷房・換気<br>電話設備交換台 |
| 換気設備  | 地階、機械室、電気室、金庫室、厨房は給排気。便所、温湯室は排気。  |   |
| 気送管設備 | 内径75φ復管往復式 二局式 2系統  |   |
| 給水設備  | 市水道本管より分岐、80φ量水器を経て地階受水槽へ動力ポンプで塔屋高架水槽へ、以降重力配管給水   |   |
| 排水設備  | 1階以上の汚水雑排水は市下水本管に直接放流、地階汚水雑排水は動力ポンプで下水本管に流す。  |   |
| 消火設備  | 地階に加圧ポンプを設け、各階屋内消火栓、3階以上は消防隊専用栓組込み、1階サイヤシーズコネクション双口型を設ける。   |   |
| 瓦斯設備  | 東京ガス本管分岐、冷暖房用500灯ガスメーター及び一般用100灯ガスメーターを設置。  |   |
| 給湯設備  | 厨房は湯沸器、理事長室は電気温水器による給湯を行なっている。  |   |
| 受電設備  | 受電電圧 6KV 3φ3W 50Hz<br>2回線受電 (本線、予備)<br>最大契約電力 333KW<br>停電灯電源 シリコン整流器サイリスター式 ポケット式アルカリ電池 54セル 100V 150AH   |   |
| 照明設備  | 主に蛍光灯による照明方式 一部白熱灯使用により1、2階営業室は1,000lx その他一般事務室は500lxの平均照度とする。  |   |
| 弱電設備  | 電話設備<br>クロスパー式自動交換機 200回線<br>中継台 据置型 2台   |   |

## 工事関係者

|           |               |
|-----------|---------------|
| 設計・監理     | 株式会社 創和設計     |
| 建築工事      | 馬淵建設株式会社      |
| 空調設備工事    | 文化興業株式会社      |
| 電気設備工事    | 阿部電業株式会社      |
| 給排水衛生設備工事 | 文化興業株式会社      |
| 昇降機設備工事   | 株式会社 光電社      |
| 金庫設備工事    | 株式会社 東京熊平金庫店  |
| "         | 富士精工株式会社      |
| 電話設備工事    | 株式会社 光電社      |
| 看板工事      | 株式会社 文宣       |
| 内装設備工事    | 日米パーティション株式会社 |
| "         | 東横工業株式会社      |
| 家具什器      | 株式会社 イト一キ     |
| "         | 日本総業株式会社      |

**YOKOSUKA SHINYO KINKO**